

平成30年度 経営発達支援事業実施状況一覧(H30年4月～H31年3月分)

大項目	中項目	小項目	事業内容	実施状況	実施時期	達成度	担当部所	
I 経営発達支援事業の内容	1. 地域の経済動向調査		柏市内156事業所に対して地域の景気動向調査・分析・現況コメント聴取を毎月実施	毎月156事業所に対して地域経済動向を調査・分析及びコメント聴取を実施	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所	
			地域の景気動向情報の提供	会報誌への掲載、当所HPIによる開示、常議員会での報告を毎月実施	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所	
	2. 経営状況の分析			柏市中小企業資金融資制度を通じた経営状況ヒアリング実施(年間目標200件)	柏市中小企業資金融資調査ヒアリング46件実施(推薦金額44,850万円)	H30.4～H31.3	23%	中小企業相談所
				マル経融資制度を通じた経営状況ヒアリング実施(年間目標100件)	マル経融資調査ヒアリング64件実施(推薦金額48,000万円)	H30.4～H31.3	64%	中小企業相談所
				マル経融資・柏市中小企業融資・当所専門相談員活用による経営分析(年間目標20件)	H30年度 経営分析実施件数64件	H30.4～H31.3	100%超	中小企業相談所
				経営分析対象先抽出のためのセミナー開催(年間目標2回)	セミナーは実施していないが、窓口相談等により個別に対象企業を抽出	H30.4～H31.3	0%	中小企業相談所
				専門家と連携した経営課題の解決策策定(年間目標9件)	H30年度 経営課題解決策策定13件	H30.4～H31.3	100%超	中小企業相談所
	3. 事業計画策定支援	A. 小規模事業者の事業計画策定支援		当所会報誌・ホームページの周知による対象小規模事業所掘り起こしと策定支援	当所会報誌への掲載、ホームページによる周知の実施	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
				当所経営指導員の窓口・巡回指導による対象小規模事業所掘り起こしと策定支援	H30年度 小規模事業者に対する巡回指導833件、窓口指導1203件	H30.4～H31.3	54%	中小企業相談所
				事業計画策定セミナー・個別相談会による事業計画策定支援(セミナー年間目標3回)	H30年度 事業計画策定支援セミナー3回・個別相談会30社延べ30名	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
				経営分析・融資調査・各種補助金申請時等に事業計画策定支援を実施した事業者数(年間目標80件)	H30年度 事業計画策定支援実施事業者数68件	H30.4～H31.3	85.0%	中小企業相談所
				(新設)小規模事業者経営発達支援融資制度の活用	無し	H30.4～H31.3	0%	中小企業相談所
				麗澤大学との連携に基づく研修プログラム実施による計画策定支援	左記の内容ではないが麗澤大学と地域連携事業を実施。東京大学・東京理科大学とは所属する講師の講演会及び交流会事業を実施	H30.4～H31.3	0%	中小企業相談所
		B. 創業支援		創業フェアの開催とワンストップ個別相談会の開催(目標:年2回開催)	個別相談会4回開催	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
				創業塾(5回シリーズ)の開催(目標:年2回開催)	創業塾2回開催(各5回シリーズ) 合計48名出席	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
				市内商店会空き店舗見学ツアー(説明会)の開催(目標:年2回開催)	個別相談にて不動産業者の紹介や空き店舗の情報提供を実施(ツアーは未実施)	H30.4～H31.3	0%	中小企業相談所
				創業支援者数(目標:130者)	H30年度 創業支援者数110者	H30.4～H31.3	85.0%	中小企業相談所
	4. 事業計画策定後の実施支援			国県等の制度活用・融資斡旋や販促メニュー活用による支援(フォローアップ目標事業所数90件)	H30年度 事業計画策定後のフォローアップ事業者数57件	H30.4～H31.3	63%	中小企業相談所
				事業計画策定事業者への巡回指導等による進捗確認・フォローアップ延べ回数(目標:270回)	H30年度 事業計画策定後の事業者フォローアップ回数207回	H30.4～H31.3	76.6%	中小企業相談所
				創業者への個別フォローアップ、創業塾卒業生に対するフォローアップ講座の開催	創業塾フォローアップ講座2回開催	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
				経営革新認定申請セミナー・個別相談会による計画策定支援(目標:計画策定者数4件)	経営革新計画策定0件、経営力向上計画策定支援10件	H30.4～H31.3	100%超	中小企業相談所
	5. 需要動向調査		地域の景気動向調査・分析・現況コメント聴取と地域の景気情報提供を毎月実施	毎月156事業所に対して地域経済動向を調査・分析、会報誌等への掲載・情報提供	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所	
	6. 新たな需要の開拓に寄与する事業			当所会報誌を活用した販路開拓支援サービス事業の実施(年4回実施 掲載事業者目標180社)	マルチチケットの名称で自店サービス内容等をマップ付で掲載 年4回実施 掲載事業者延180社	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
				各種展示会への共同出展による需要開拓、販路拡大(年2回、参加事業所目標18社)	エヌプラス5社出展、機械要素技術展9社出展、計14社出展	H30.4～H31.3	77.8%	業務部
				当所HPを活用した展示会サイトによる情報提供と出展費用助成(助成事業所目標18社)	H30年度 出展費用助成6社	H30.4～H31.3	33%	業務部
				東葛工業人交流会時の大手企業との個別商談会の実施(交流会参加事業所目標140社)	H30年度は大手企業ではなく、ベンチャー企業との商談会を実施、参加者105名	H30.4～H31.3	75%	業務部
				医療産業系新分野参入に特化した個別商談会による新分野進出(参加事業所目標18社)	医療機器製造販売企業・専門商社との個別商談会参加事業所35社	H31.2	100%超	業務部
			東京商工会議所との共催による受発注商談会への出展支援(参加事業所目標15社)	受発注商談会エントリー8社、受発注商談会参加事業所6社	H30.4～H31.3	93%	業務部	
			金融機関と連携した受発注商談会への出展を促し、販路拡大を支援(参加事業所目標15社)	常陽ものづくり企業フォーラム出展企業4社、商談会3社	H30.4～H31.3	47%	業務部	
			商取引支援サイト「サ・ビジネスモール」・当所が運営する情報サイト等の利用促進・周知	当所会報誌・ホームページ等で周知	H30.4～H31.3	100%	相談所・業務部	
			米国販路開拓支援サービスの活用による海外進出支援	0社	H30.4～H31.3	0%	業務部	
			当所プレスリリースサービス活用による広報支援	6件	H30.4～H31.3	100%	全部所	

平成30年度 経営発達支援事業実施状況一覧(H30年4月～H31年3月分)

大項目	中項目	小項目	事業内容	実施状況	実施時期	達成度	担当部所
Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取組	1. 地域活性化事業		柏市中心市街地活性化事業の実施(柏市中心市街地活性化協議会)	大型店売上高調査・運営会議2回・総会・通行量調査	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
			柏まつりの運営による地域活性化	7/28・29柏まつり開催	H30.7	100%	全部所
			柏市商店会連合会との共同事業による商業活性化策の実施等	11/11柏商業祭2018開催(参加店舗35店、来場者26,000人)	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
			街バル事業への協力と広報支援	当所会報誌・ホームページ等で周知	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
			観光協会HPリニューアルの段階的なバージョンアップ	完成(日本語版H29年度完成、英語版と中国語版はH30年度末完成)	H30.4～H31.3	100%	業務部
Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組	1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換		東葛工業人交流会事業参加の支援機関との会議・情報交換会の実施(年6回開催予定)	H30年度 年2回開催	H30.4～H31.3	33%	業務部
			麗澤大学との連携による研修プログラム及び大学教員との情報交換会の開催(年2回開催予定)	H25年に麗澤大学と包括的連携協定を締結、連携事業は実施できず	H30.4～H31.3	0%	相談所・業務部
			創業支援機関・行政と支援ノウハウに関する連絡会議・情報交換会の実施(年4回開催予定)	H30年度 柏市と創業支援に関する情報交換を4回実施	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
			法務・医療・教育部会ワーキンググループとの支援事例研究の実施(年2回実施予定)	H30年度 年2回実施	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
	2. 経営指導員等の資質向上等		日商・中小企業大学校への研修派遣による実施支援スキルの習得とフィードバック	中小企業大学校への職員2名研修派遣・研修報告会を実施	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
			経営発達支援事業に関する所内勉強会を一般職員も含め実施(計4時間予定)	週1開催の幹部会で適宜経過報告を行い各部署へ伝達、所内勉強会は実施できず	H30.4～H31.3	0%	全部所
			各種支援に係る専門家派遣時に若手経営指導員を帯同させ伴走型支援能力の向上を図る	各種補助金申請支援時に専門家と帯同(6社)	H30.4～H31.3	100%	中小企業相談所
	3. 事業の評価及び見直しの仕組み		本事業実施時のフェイスブック公表と事業参加者アンケートによる効果測定・満足度調査の実施	会報誌活用の販路開拓(年4回)・展示会・商談会で事業参加者アンケート実施	H30.4～H31.3	100%	相談所・業務部
			幹部会時の進捗チェック、外部有識者による実施状況・成果評価等の実施	令和元年7月外部有識者による事業評価を実施、7月幹部会にて進捗チェック	R1.7	100%	中小企業相談所
			正副会頭会議(経営審議会)において評価・見直し方針を決定	令和元年7月正副会頭会議にて事業実施状況の報告を行う	R1.7	100%	中小企業相談所
			事業の成果・評価・見直し結果について常議員会に報告、当所ホームページで公表	令和元年7月常議員会にて事業評価報告を行う	R1.7	100%	中小企業相談所

## 平成30年度柏商工会議所経営発達支援計画実施事業における

### 外部有識者による事業評価

- ・実施日時：令和元年7月1日（月）、5日（金）
- ・実施場所：東大柏ベンチャープラザ、東葛テクノプラザ
- ・外部有識者：独立行政法人 中小企業基盤整備機構関東本部 東大柏ベンチャープラザ  
チーフインキュベーションマネージャー 中小企業診断士 原田 博文  
公益財団法人 千葉県産業振興センター 東葛テクノプラザ  
常務理事 所長 森 文彦
- ・実施内容：①平成30年度柏商工会議所経営発達支援計画及び事業実施状況の説明  
②上記①実施状況の確認。成果評価、見直しについて

### 〔外部有識者による事業評価結果〕

- (1) 事業全体の実施状況については、概ね良好である。
- (2) 平成30年度は経営発達支援計画実施の4年目になるが、伴走型支援の骨格である小規模事業者の事業計画策定・策定後の実施支援については、「小規模事業者の事業計画策定支援→策定後の実施支援→毎年度事業計画進捗状況チェック→計画どおりに事業実施出来ていない場合、再度事業計画策定支援→策定後の実施支援」というPDCAサイクルで継続的に実施されている。
- (3) 例年、事業計画策定後の実施支援の中でフォローアップに関連する取り組み項目が目標に対して未達であるが、達成度及び支援件数は増加している。又、実施状況一覧表に記載はないが、各種補助金申請に関する事業計画策定支援による補助金の採択件数及び補助金採択による売上増加の事業所も現れる等の成果が高まっている印象を受ける。伴走型支援は経営者とヒアリングを重ねて事を進めるため1件の支援で多くの時間を要することは理解できるので、(2)にあるサイクルを適正且つ効率的に実施していく

ことに努めて欲しい。

- (4) 新たな需要の開拓に寄与する事業で、製造業の受発注に係る展示会出展や個別商談会事業は参加事業所が固定化し微減傾向である。商談会後のフォローアップも重要なので、継続したフォローアップによる成功事例の創出に努め、会報誌や SNS による情報発信を行うことで、新規事業者の掘り起こしに繋げて欲しい。
- (5) 経営発達支援計画を策定した時期から一定の年月が経っており時流でない事業や連続して達成率 0% の事業がある。本計画実施期間が残り 1 年という状況から計画の修正までは要求しないが、第 2 期の経営発達支援計画には、中小企業施策の時流に合った事業・小規模事業者のニーズを取り入れた事業を盛り込んで欲しい。
- (6) 経営発達支援計画とは直接関係は無いが、柏の葉地域は全国的にも有数の研究機関、インキュベーション施設や支援機関が集積する地域となっている。平成 30 年 11 月には、産総研によって東京大学柏キャンパス内に柏センター (AI グローバル研究拠点) が設立、今後は新産業の創出や先端産業の集積によって創造的な産業空間が醸成されることが大いに期待されている。このような環境下において、先端産業と地元企業並びに東京大学等をマッチングしていく役割を担って欲しい。

以上